

に係る試験法開発進捗状況の説明を行い、試験法に関する提案を行う。

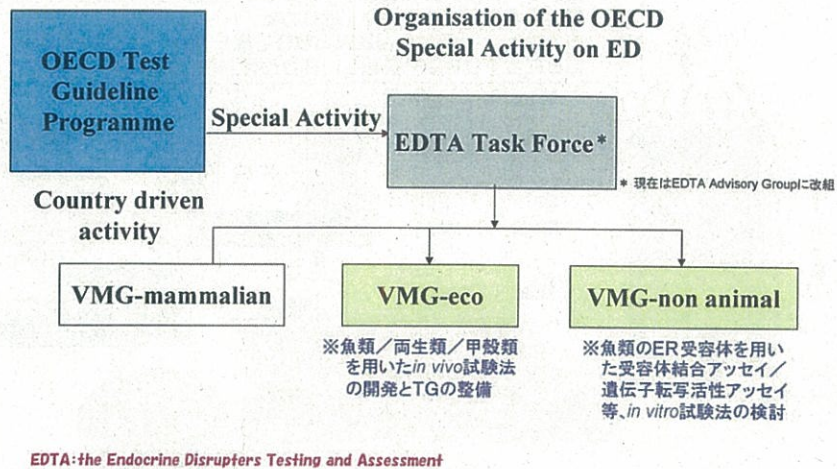
(3) ミジンコの性比に影響を及ぼす化学物質の情報収集及びスクリーニング試験

OECD に提案した Enhanced TG211 試験は、試験法承認のための、バリデーションテストによる試験法の検討も済ませており、別途行った実験により、幼若ホルモン4種と幼若ホルモン類似化学物質として昆虫成長制御剤6種についていずれもオオミジンコでオス仔虫生産誘導を確認している他、他種ミジンコでも同様の現象を確認済みである。一方、昆虫成長制御剤としてではなく生産・使用されている化学物質で幼若ホルモンかく乱作用が疑われる例についてはその情報は限られている。ここでは、幼若ホルモンとその類似化学物質（昆虫成長制御剤）以外でミジンコのオス仔虫生産を誘導する可能性のある物質を文献検索によって選び出す方法について検討する。



(添付資料1)

## The OECD Work on ED: A Special Activity of the Test Guideline Programme



### OECDテストガイドラインプログラムにおける無脊椎動物試験法の進捗状況

